

アルカリシリカ反応抑制対策

コンクリート中のアルカリ総量を規制

和光産業(株)鳥取第二工場

(令和6年 3月度)

工場長	品管責任者	試験係
森	徳田	徳田

〔アルカリ総量の計算表〕

設計基準強度 18.0—8—20

①	ベースセメントの全アルカリ (%)		0.62
②	単位セメント量(kg/m ³)	(配合表に示された値)	285
③	1 m ³ 当たりのセメント中のアルカリ量(kg/m ³)	②X①/100	1.767
④	細骨材(陸砂)中のNacl量%		0.000
⑤	単位細骨材(陸砂)量(kg/m ³)	(配合表に示された値)	643
⑥	1 m ³ 当たりの細骨材(陸砂)中のアルカリ量(kg/m ³)	0.53X④X⑤/100	0.000
⑦	粗骨材中のNacl量%		0.000
⑧	単位粗骨材量(kg/m ³)	(配合表に示された値)	1132
⑨	1 m ³ 当たりの粗骨材中のアルカリ量(kg/m ³)	0.53X⑦X⑧/100	0.000
⑩			
⑪			
⑫			
⑬			
⑭			
⑮			

〔計算の結果〕

コンクリート1 m ³ 当たりの全アルカリ量(kg/m ³)	③+⑥+⑨	1.767
国土交通省の規制値(kg/m ³)		3.00以下
判 定		